

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第6区分
 【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2004-250105(P2004-250105A)
 【公開日】平成16年9月9日(2004.9.9)
 【年通号数】公開・登録公報2004-035
 【出願番号】特願2004-42003(P2004-42003)
 【国際特許分類第7版】

B 6 5 B 3/26
 B 6 7 C 3/20
 G 0 1 F 1/00
 G 0 1 F 13/00

【F I】

B 6 5 B 3/26
 B 6 7 C 3/20
 G 0 1 F 1/00 X
 G 0 1 F 13/00 3 1 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年7月30日(2004.7.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

媒体(1)の充填量を検出し、当該の充填量が終値に達したときバルブ(6)を閉鎖して充填を終了する

容器(2)内へ流体を充填する方法において、

媒体(1)の第1の容器(2)への充填を複数のステップで行うものとし、

第1の充填ステップ中にバルブ(6)を閉鎖して充填を中断し、バルブの閉鎖中に生じた媒体の残流量を流量計(5)により求め、

第2の充填ステップとしてバルブ(6)を開放して充填を再開し、先行のステップでバルブの閉鎖中に求められた媒体の残流量を考慮して続くステップを終了させるための終値を定める

ことを特徴とする容器内へ流体を充填する方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この課題は、本発明にしたがって、媒体の第1の容器への充填を複数のステップで行うものとし、第1の充填ステップ中にバルブを閉鎖して充填を中断し、バルブの閉鎖中に生じた媒体の残流量を流量計により求め、第2の充填ステップとしてバルブを開放して充填を再開し、先行のステップでバルブの閉鎖中に求められた媒体の残流量を考慮して続くステップを終了させるための終値を定めることにより解決される。